

「防災ピクニック」

防災サークル 風北ジョイナス

令和5年10月1日（日） 大津ヶ丘中央公園にて実施

目的：家にあるものを持ちより、防災に役立つ取り組みをしてみよう！

参加：10名

ひまわりプラザ第二駐車場より、中央公園へ向かいました。カートを使って荷物を運ぶのは、なかなか大変なものです。道の段差や坂道に苦戦しながら現地に着。

今回の目的は、①シートを使ってテントを張る ②簡易コンロを使って湯を沸かす ③ビニール袋でご飯を炊く の3つです。

まずは、設置場所を考えました。足元が安定している事、テントを支える樹木がある事、風を遮り、火元が安定する事を考え位置を決め、2班に分かれて作業を開始しました。

① テント班

- ・2本の樹木にロープを渡し、屋根の部分を作る作業では、高い位置にロープを括るのに苦戦しました。長い枝を探して高さを取ったり、ロープをかけても折れない枝を見極めたり、ロープの張り具合を調整したりと力仕事が続きました。
- ・簡易テントと称するシートも作ってみましたが、地の薄い商品は、地面に落ちている枝や木の実で穴が開いてしまうことも分かりました。

② 簡易コンロ作り班

- ・アルミホイルとティッシュペーパーの紙縊りで芯を作り、空き缶に設置。空き缶にサラダ油を入れ、芯に油をしみこませ着火。ん？なかなかつきません。火がついても、芯の部分が焼けていってしまい、消えてしまいます。何度も芯の長さや油の染み込み具合を調整しながら行いましたが、湯を沸かせるまでの着火には至らず断念。簡易コンロの難しさを実感しました。

③ ビニール袋でご飯を炊く（カセットコンロ使用）

- ・米1合を洗わず、アイラップ（冷凍、レンジ、湯煎可のポリ袋）に入れ、水を200cc入れて、30分つける。空気を抜き、上の方で結ぶ。鍋に水を入れ、なべ底にビニール袋がつかないように耐熱皿やザルをいれ、米を入れ

て火をつける。沸騰したら中火（少しグツグツする位の火力に調整）にし、20分炊く。火を止め、15分～20分蒸らして完成。

・炊き上がりは、固まり感がありますが、熱いうちにほぐし、皿に取り分けたり、おにぎりにしたりして食べました。もちもち感のある美味しいご飯が炊けました。

*洗わず米を使うことや、ビニール袋で炊くことなどを実際に経験することは、有事の際にも大変役立つことを実感しました。

炊き上がりまでの時間も、情報交換の場となり、柏市消防団女性分団の方より救命救急の話や、防災クイズの内容を話したり、簡易トイレの話などで盛り上がりました。

「知らない」を「知っている」へ、「知っている」を「見たことある」へ、「見たことある」を「やったことある」への経験を増やす活動となり、有意義なひと時であったことは間違いありません。

12月の活動は、メンバーの被災体験講話、3月には柏市消防団女性分団指導による救命救急講習の実施を決めました。

【防災ピクニックを終えて…】 メンバーより

*袋ご飯も思った以上に美味しかったので、団地の防災会でお披露目できたらと思います。

*とにかく、楽しかった！楽しく学ぶ事が出来ました。

*会合とは違って、皆で力を合わせて、和気あいあいと作業して、それぞれ新たな一面を垣間見、失敗あり、成功ありの充実した時間を過ごすことで、より防災を身近に感じて絆を深めることが出来ました。

*机上では学べないことが沢山あると実感しました。

*こういうイベントを通して、コミュニケーションを図り、様々な立場、生活環境、世代の方々が団結して楽しみながら防災意識を高められることは素的ですね。

*新しいことをいろいろ体験し、防災をより身近に感じられた1日でした。

*やって分かることばかりで勉強になりました。